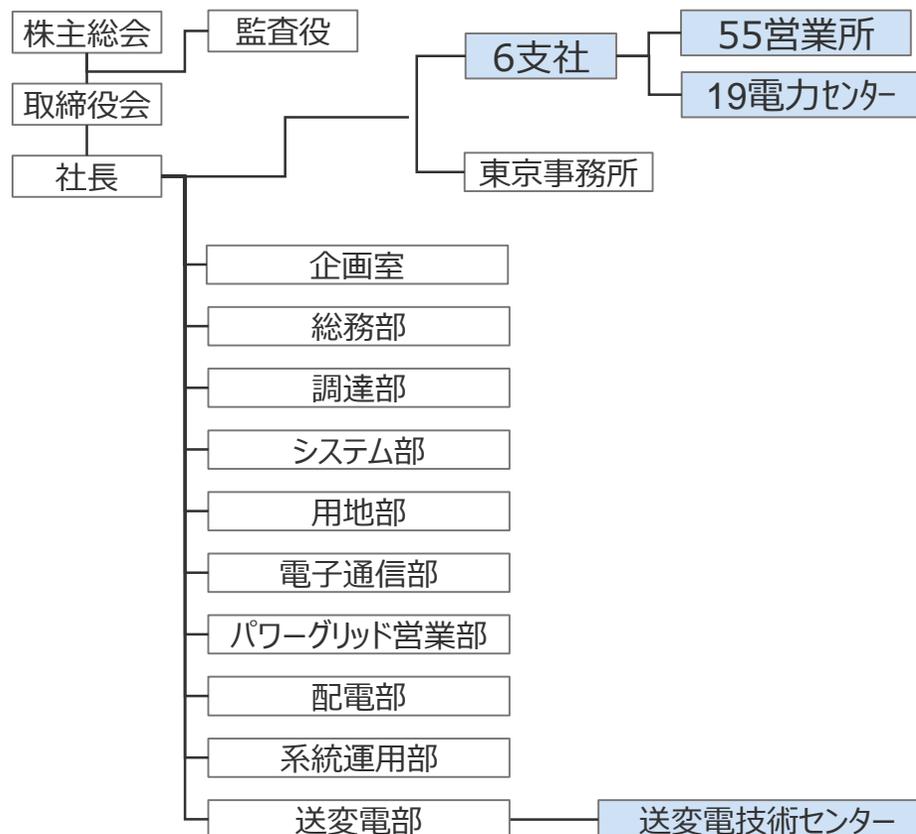


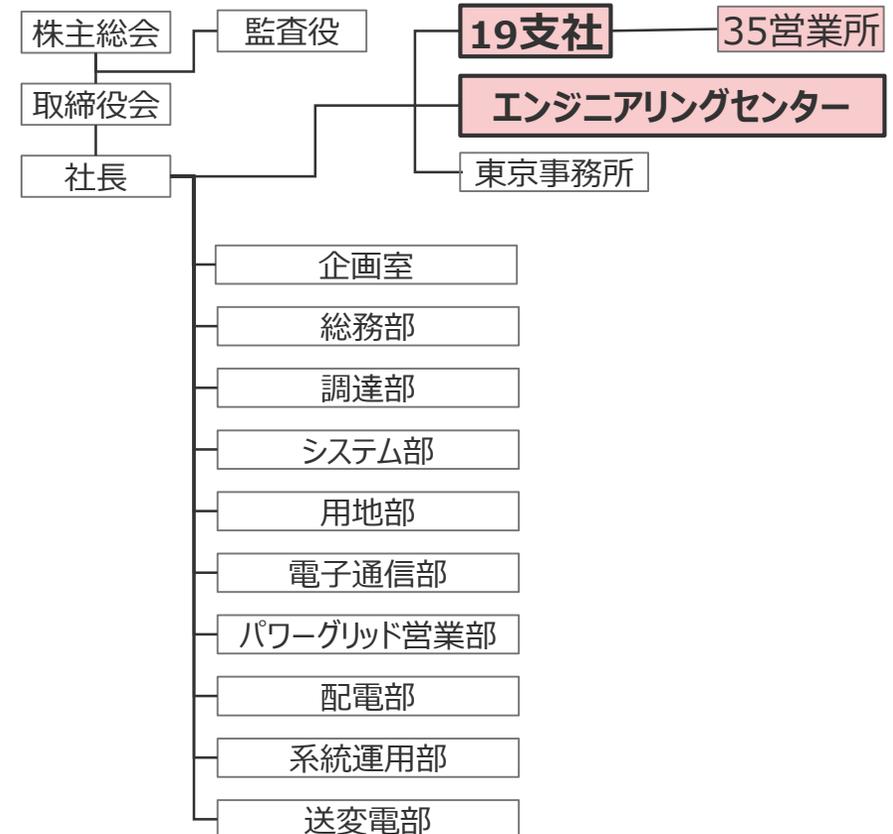
# 組織見直しの概要

- 支社・営業所・電力センターの機能を統合した新たな「支社」を19か所に設置する。
- 送変電技術センターを改組し、支社の自律的な活動を技術面から総合的に支援する「エンジニアリングセンター」を設置する。

## 【現行組織】

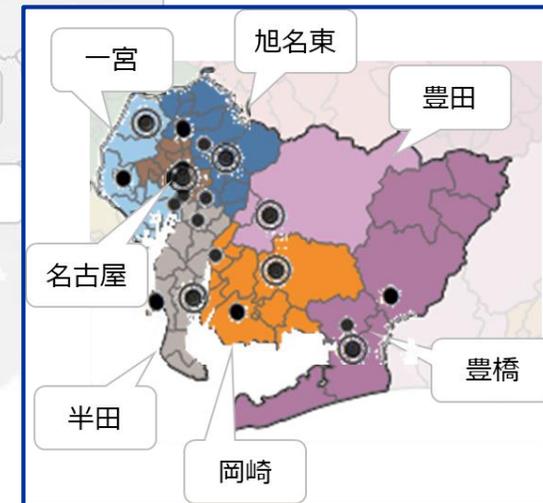
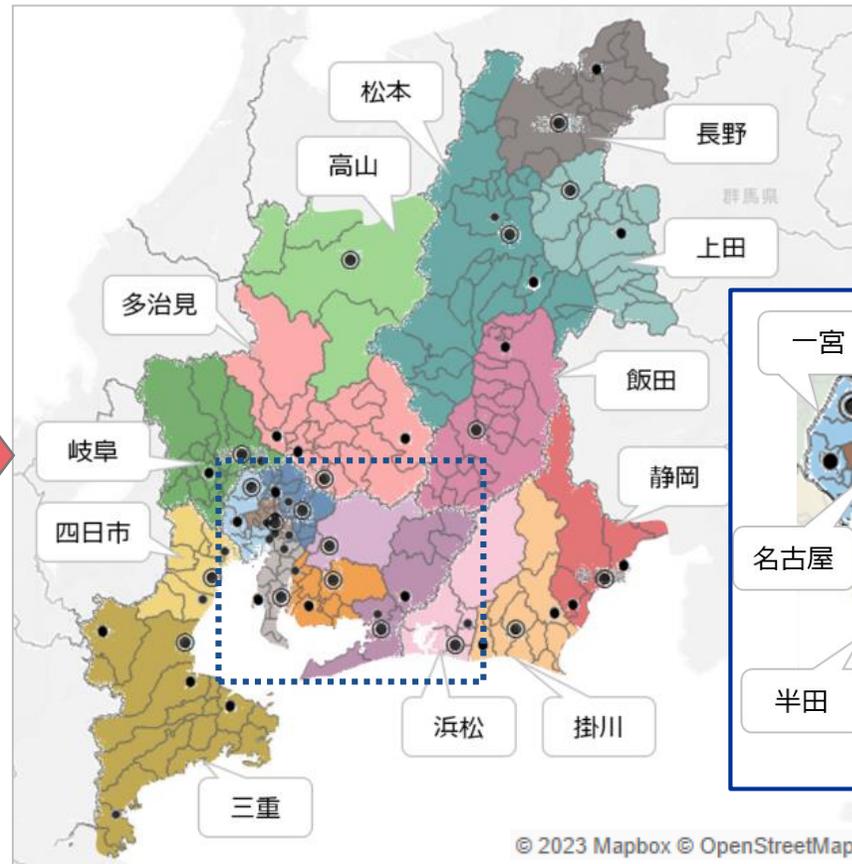
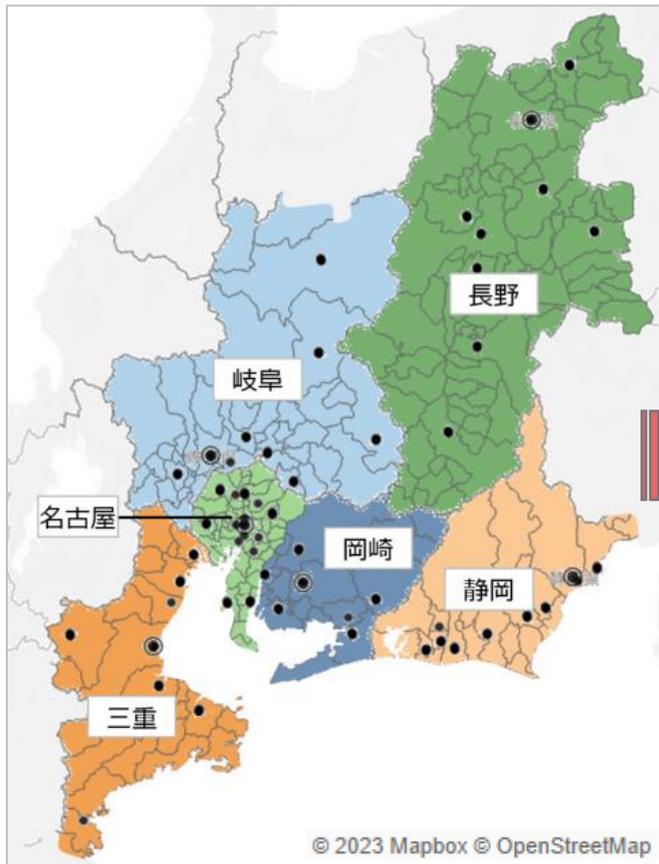


## 【見直し後の組織】



# 19支社の設置

- 新たな支社は、当社設備の状況や地域の経済圏等を考慮した場所に設置する。
- 地域ごとに様々なデータを分析・活用して、合理的な設備形成や地域の未来像実現に向けた活動を自律的に実行する体制を整備する。【別紙参照】

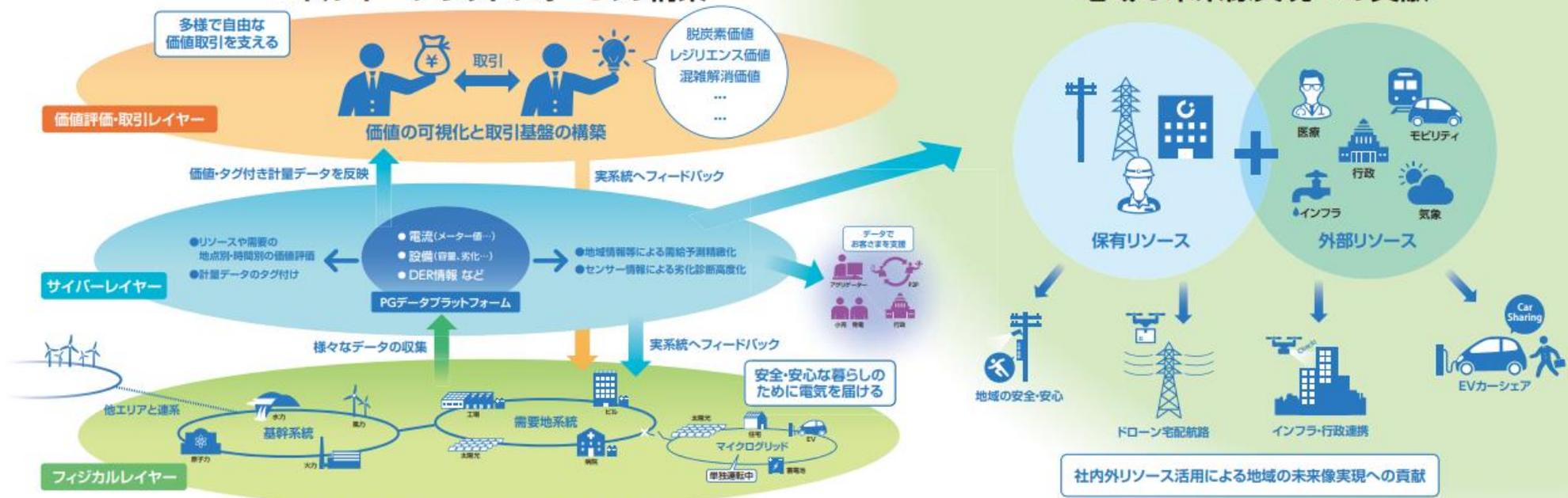


# 中部電力パワーグリッドのビジョン(目指す姿の全体像)

電気の安定供給を柱に、地域のお客さまへ安全・安心をお届けする

## エネルギープラットフォームの構築

## 地域の未来像実現への貢献



**2019**  
 非化石28%  
 電動車普及15%  
 高齢化率28%  
 水素 100円/Nm<sup>3</sup>  
 洋上風力(FIT) 36円/kWh

**2030**  
 非化石58%  
 電動車普及52%  
 高齢化率31%  
 水素 30円/Nm<sup>3</sup>  
 PV 7円/kWh

**2040**  
 非化石77%  
 電動車普及80%  
 高齢化率35%  
 洋上風力 8~9円/kWh

**2050**  
 温室効果ガス ネット・ゼロ  
 高齢化率38%  
 DAC 2,000円台/CO<sub>2</sub>t  
 水素 20円/Nm<sup>3</sup>

2035

## エネルギー需給要素の変革



出典：内閣府「革新的環境イノベーション戦略」、経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」・「2018年版ものづくり白書」、厚生労働省「令和2年版高齢社会白書」、IEA「WEO2020 持続可能発展シナリオ 日本発電量の割合」